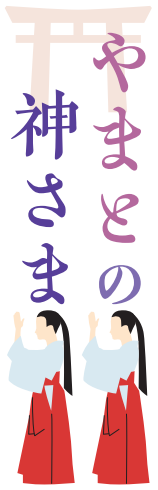




葛木坐火雷神社拝殿と大砲―葛城市で



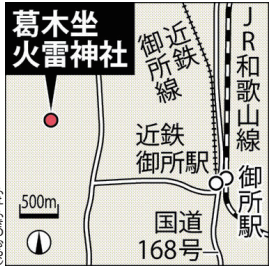
(住所) 葛城市笛吹448
 (通称) 笛吹神社
 (祭神) 火雷大神、天香山命
 (交通) 近鉄御所線・忍海駅から徒

歩約35分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) あり。無料。
 (電話) 0745・62・5024

葛木坐火雷神社 (葛城市)

葛城山のふもと、笛吹
 神山に鎮座するこの神社
 の創建は神代とも神武天
 皇の代とも伝えられます
 が、明らかではありません
 せん。神社に伝わる旧記か
 ら崇神天皇の代にはすで
 にこの地に鎮座していた
 ことがうかがえます。

祭神は火雷大神と
 天香山命です。王朝の



笛師をつとめた笛吹連
 がこの地に居住、天香山

命を祖先神として笛吹神
 社に祭られたのが始まり
 といわれています。

火雷大神は雷神、つま
 り雷雨をもたらす農耕神
 として祭られました。夏
 の雷をとまなう雨が稲作
 にとってめぐみの雨で雷
 神は人びとが畏敬する神

でした。「延喜式」神名
 帳には火雷大神は大膳職
 (宮中の食事や儀式のお
 膳を担当する役所)に祭
 られる三神のうちの火の
 神と記されています。

葛木坐火雷神社と笛吹
 神社は元々別の神社でし
 たが、現在は一つになり、
 その地名から正式名の葛
 木坐火雷神社よりも笛吹

神社の名で地元の人に親
 しまれています。
 境内では古びた大砲が
 ひときわ目立ちます。こ
 れは日露戦争の戦利品と
 して1909年に政府よ
 り贈られたものです。当
 時、日本各地の神社など
 に奉納されましたが、太
 平洋戦争などでほとんど
 が軍などに回収され、当
 時のままの姿で残ってい
 るのは大変貴重なもので
 す。(奈良まほろばソムリ
 工の会員 東辻裕子)

日露戦争戦利品の砲も

工の会員 東辻裕子)